

こんにちは 婦人会です

立春も過ぎ、日脚もだいぶ伸びてきました。また、例年より早い暖かい春一番が吹き荒れました。しかし「春一番は寒を戻す」と言われているようにこの頃はとても寒い日が続いています。先日の某テレビの天気予報で、今週は菜種梅雨なたねつゆだそう
で冬と春の分け目とのことでしたが、暖くなるのが待ちどろしいこの頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。昨日、年行事の一つであるバス旅行で、勝浦のビッグひなまつりに出かけてきました。あいにくの雨で遠見岬神社の特設展示は見られませんでした。市民会館の日本最大の享保雛と、館内の約10,000体の雛人形には感動でした。そして、昼食には「翠州亭」での和食を堪能し、皆さん楽しい一日を過ごされたことと思います。

～婦人会・暮らしのエッセンス～

菜種梅雨って・・・例のごとく調べて見ました。3月下旬から上旬にかけて、菜の花(別名 菜種)の咲いている時期に降り続く雨のことを「菜種梅雨」というのだそうです。菜の花をはじめ色々な花を咲催す(咲かせる)という意味で「催花雨(さいかう)」という別名もあるようです。蜂蜜好きの私は、菜の花の甘い香りが漂って、花から花へとミツバチたちの宅急便を想像してしまいます。そして、「菜種梅雨」の季節が終わると、5月上旬は「竹の子梅雨」、中旬からは「卯の花くたし」。その後梅の実の熟す頃、本格的な「梅雨」がやってくるようです。季節の変わりめには、体調管理に充分気をつけてくださいね。



桜台婦人会 第86号
平成21年2月26日